

モザンビーク／レブボー・プロジェクト概要

1. プロジェクト所在地及び面積

プロジェクト所在地	モザンビーク共和国テテ州テテ市 ブラジル Vale 社が操業中のモアティーズ鉱区、豪州 Rio Tinto 社とインド TATA 社の合弁会社が操業中のベンガ鉱区、豪州 Rio Tinto 社が探査中のザンベジ鉱区等有望な原料炭鉱区に隣接
鉱区面積	3,860 ヘクタール

2. 探査権保有者：Minas de Revuboe Limitada（現地法人）

新日鐵住金・日鉄商事子会社	33.3% (内、新日鐵住金 23.3%、日鉄商事 10.0%)
Talbot Group 子会社	58.9%
POSCO 子会社	7.8%

3. 推定資源量及び石炭品質

推定資源量	約 14 億トン
石炭品質	賦存原料炭の品質は、豪州優良強粘結炭並みの品質である

4. 沿革・経緯

2004年7月	日鉄商事子会社が1/3出資した南ア法人が独占探査権取得
2005～2006年	NEDOの海外炭開発可能性調査補助事業を利用し、初期調査実施
2008年10月	上記南ア法人からMinas de Revuboe Limitadaに探査権を移管
2009年11月	Talbot Groupが資本参加
2009年	再度NEDOの海外炭開発可能性調査補助事業を利用し、初期事業化調査実施
2010年5月	POSCOが資本参加
2010年11月	採掘権申請
2010年12月	旧新日鉄が資本参加
2013年4月	採掘権取得

5. 開発計画

開発規模	原料炭 5百万トン/年
------	-------------

6. 今後のスケジュール

2013年	開発最終計画精査及び投資意思決定、開発着手(工期：約3年間)
2016年	出炭開始予定

以上